

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続をとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用してはならないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出た後
- 2 工事が完了した後、その運用について総務大臣の許可を受けた後
- 3 総務大臣に運用開始の期日を届け出た後
- 4 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められた後

〔2〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）は、何分以内に完全に動作するものでなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1分以内
- 2 2分以内
- 3 4分以内
- 4 5分以内

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 航海船橋に備え付ける。
- 2 携帯する。
- 3 無線局に備え付ける。
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 総務大臣が無線局の免許を取り消すことができるのは、免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときか。次のうちから選べ。

- 1 6箇月
- 2 3箇月
- 3 2箇月
- 4 1箇月

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 2 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 2 10日以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 1箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔8〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
- 3 呼出し又は応答を行う場合
- 4 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合

〔9〕 次の記述は、無線電話通信における遭難呼出しの方法について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

遭難呼出しは、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- | | |
|------------------|----------------------|
| (1) メーデー（又は「遭難」） | 3回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 遭難船舶局の呼出名称 | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 3回以下

〔10〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復
- 2 各局
- 3 貴局名は何ですか
- 4 誰かこちらを呼びましたか

〔11〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 どうぞ
- 2 送信してください
- 3 了解
- 4 OK

〔12〕 船舶局は、安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 2 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 3 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 4 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。